

福知山市商工会 企業業況調査

令和4年7月調査結果(令和4年4月～6月分 調査対象 81件)(令和4年8月公表)

■景況感

	今回調査数	現状		先行3ヶ月		先行1年		
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	
全体	81	29.0	26.9	29.6	32.5	32.1	36.9	
地域別	三和	17	33.8	35.3	33.8	38.2	35.3	39.7
	夜久野	28	24.1	23.1	28.6	31.5	30.4	37.0
	大江	36	30.6	25.7	28.5	30.6	31.9	35.4
業種別	製造業	24	31.3	29.8	35.4	38.1	40.6	47.6
	建設業	23	31.5	29.5	29.3	31.8	31.5	33.0
	卸小売業	12	29.2	21.4	29.2	25.0	29.2	35.7
	サービス業	21	22.6	25.0	22.6	32.6	23.8	31.5

景況感DIの算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
(すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

景況感DIは29.0と前回調査より2.1ポイントのプラスとなり増加に転じた。地域別では、三和が1.5ポイントのマイナス、夜久野が1.0ポイント、大江が4.9ポイントのそれぞれプラスとなっている。業種別では製造業が1.5ポイント、建設業が2.0ポイント、卸小売業が7.8ポイントそれぞれプラスになったものの、サービス業では2.4ポイントのマイナスとなっており、厳しい現状が続いている。

先行調査では、先行3ヶ月が29.6、先行1年が32.1であり、前回との対比ではそれぞれ2.9ポイント、4.8ポイントのマイナスとなった。業種別に見ると、先行3ヶ月では卸小売業でプラス、それ以外の業種でマイナス、先行1年では全業種でマイナスとなっている。新型コロナウイルス感染症の断続的な感染拡大、ウクライナ危機前から続く資源価格高による企業の負担コスト増が押し下げ要因となっているものと思われる。

■経営動向

○製造業・建設業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
引合	/		-27.7	-34.9	-25.5	-30.2
売上			-72.3	-30.2	-72.3	-30.2
仕入単価			-72.3	-56.1	-72.3	-56.1
採算	-12.8	-4.7	-48.9	-34.9	-46.8	-30.2
資金繰り	-25.5	-20.9	/		/	
業況	-48.9	-37.2				

経営動向DIの算出方法

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出

(「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

○卸小売業・サービス業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
売上	/		-27.3	-70.3	-21.2	-59.5
仕入単価			-69.7	-54.3	-63.6	-48.6
客数			-24.2	-70.3	-30.3	-67.6
客単価			-24.2	-45.9	-18.2	-45.9
採算	-45.5	-37.8	/		/	
資金繰り	-51.5	-45.9				
業況	-60.6	-64.9				

★今期の経営動向

製造業・建設業においては、採算が8.1ポイント、資金繰りが4.6ポイント、業況が11.7ポイントのそれぞれマイナスとなっている。

卸小売業・サービス業においては、採算が7.7ポイント、資金繰りが5.6ポイントそれぞれマイナス、業況が4.3ポイントのプラスとなっている。

★前年同期比、前期比

製造業・建設業においては、前年同期比では、引合が7.2ポイントのプラス、売上が42.1ポイント、仕入単価が16.2ポイント、採算が14ポイントのマイナス。前期比においては、引合が4.7ポイントのプラス、売上が42.1ポイント、仕入単価が16.2ポイント、採算が16.6ポイントのマイナスとなっている。

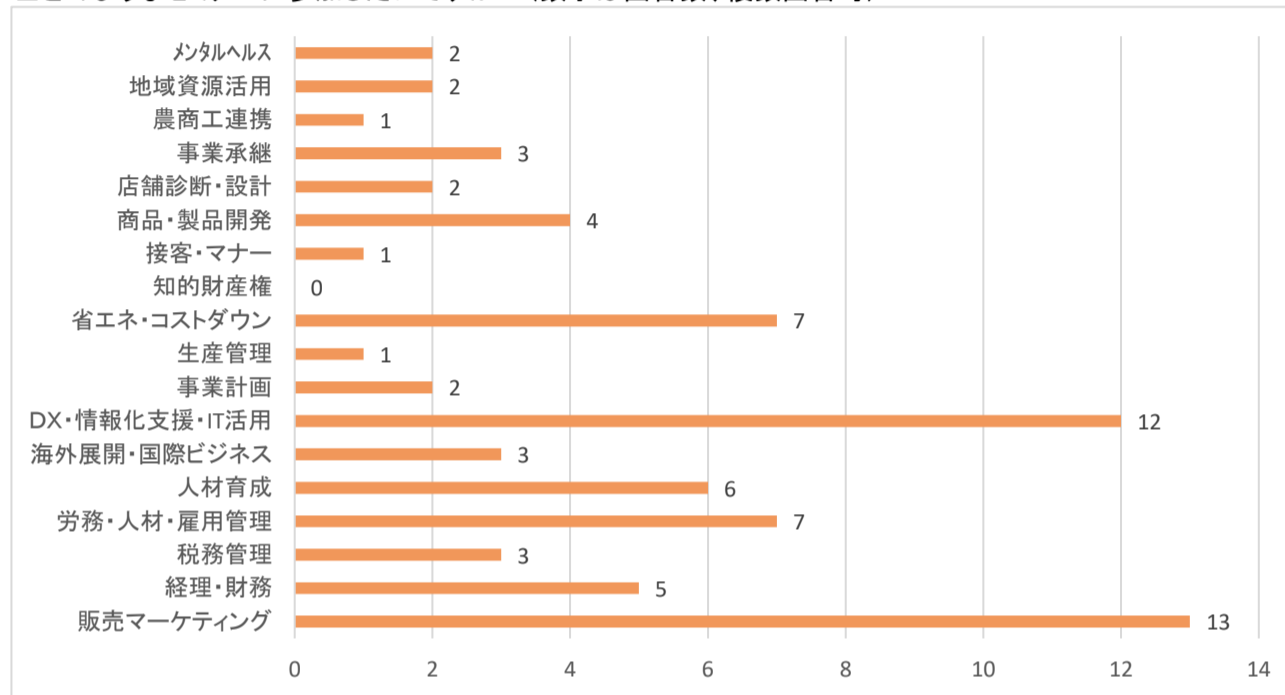
卸小売業・サービス業については、前年同期比では売上が43.0ポイント、客数が46.1ポイント、客単価が21.7ポイントのそれぞれ大幅なプラス、仕入単価が15.4ポイントのマイナス、前期比については、売上が38.3ポイント、客数が37.3ポイント、客単価が27.7ポイントのそれぞれプラス、仕入単価が15.0ポイントのマイナスとなっている。

■ 今期直面している経営上の問題点（業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位(同順位あり)、業種の後の数字は回答数)

	製造業(65)	建設業(61)	卸小売業(32)	サービス業(60)
1位	経費の増加(1) 23.1%	仕入単価の上昇(1) 34.4%	需要の停滞(1) 25.0%	仕入単価の上昇(1) 25.0%
2位	仕入単価の上昇(2) 20.0%	従業員の確保難(2) 19.7%	経費の増加(2) 12.5%	需要の停滞(2) 15.0%
3位	需要の停滞(3) 15.4%	需要の停滞(3) 11.5%	仕入単価の上昇(3) 12.5%	消費者ニーズの変化(3) 15.0%
4位	設備の老朽化(4) 9.2%	経費の増加(4) 9.8%	大企業の進出による競争の激化(-) 12.5%	経費の増加(4) 10.0%
5位	人件費の増加(5) 9.2%	設備の老朽化(5) 4.9%	消費者ニーズの変化(1) 9.4%	設備の老朽化(3) 8.3%

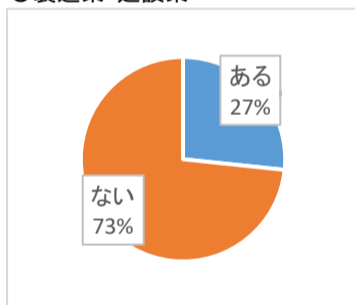
前回調査に引き続き「仕入単価の上昇」が全業種上位を占めている。また、「需要の停滞」「人件費以外の経費の増加」をあげる事業者が多く、厳しい経営状況が顕著になっている。

■ どのようなセミナーに参加したいですか？（数字は回答数、複数回答可）

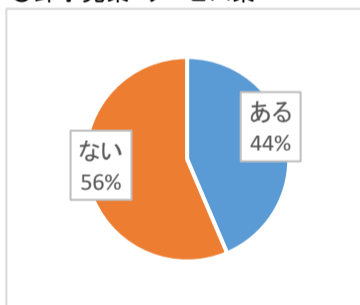


■ 事業計画を策定されたことがありますか？

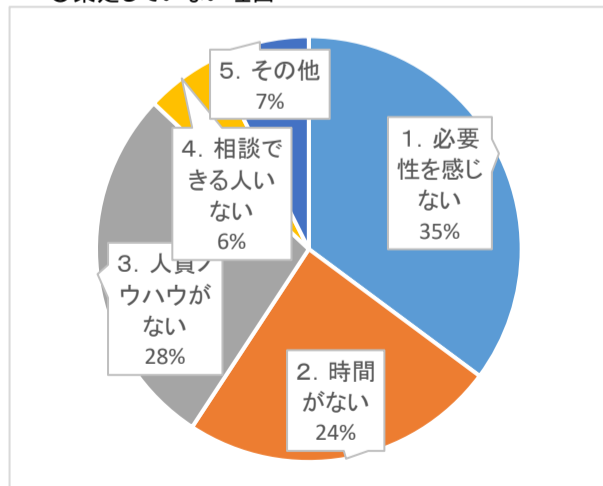
○製造業・建設業



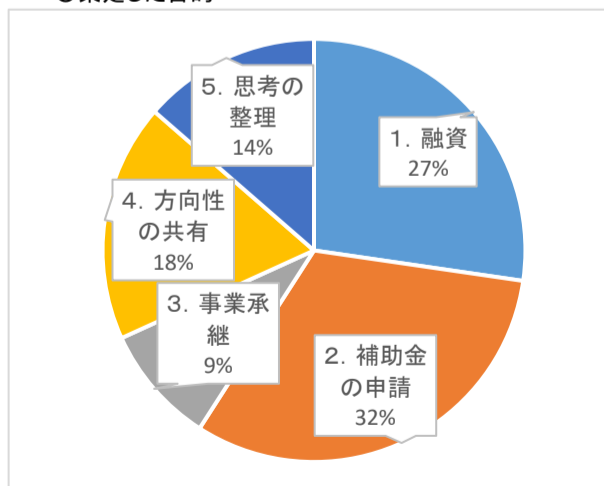
○卸小売業・サービス業



○策定していない理由



○策定した目的



この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は令和4年7月～9月の状況について、令和4年10月に調査する予定です。商工会の支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。